

グローバル・リスク・ウォッチ Vol.7

再びハト派色が増す先進国の金融政策 他

=====

<<index>>

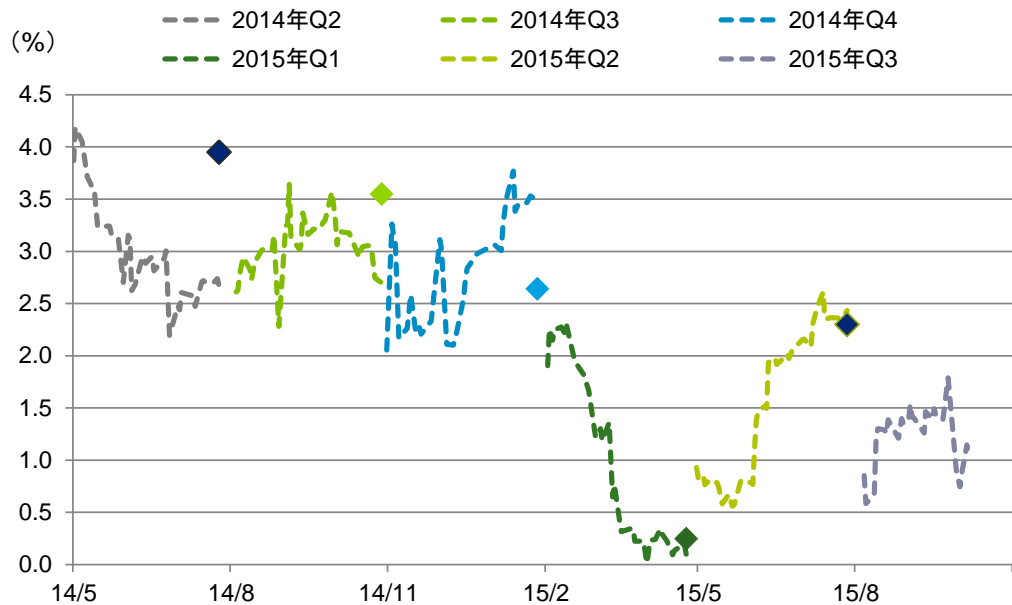
- [1. 再びハト派色が増す先進国の金融政策\(大山\)](#)
 - [2. 米国流のファンド規制がグローバル化する兆し\(岩井\)](#)
 3. 米国に景気減速の兆候(祖父江)
 - [4. 不思議の国「日本」\(茂木\)](#)
 - [5. セミナー最新情報\(2015年10月時点\)](#)
- =====

3. 今月の注目指標

米国に景気減速の兆候(有限責任監査法人 トーマツ マネジャー 祖父江康宏)

米国経済は 4-6 月期に前期比年率ベースで 3.9%の成長(下図の速報値では同 2.3%成長ですが確定値では上方修正されました)を記録し、寒波等の影響で成長率が大幅に鈍化した 1-3 月期から力強い回復を示しました。しかし、アトランタ連銀が公表している「GDPNow」では、7-9 月期の米国経済の成長率見通しは 1%程度の低成長にとどまっており、再び成長が鈍化する可能性が示されています。

「GDPNow」はナウキャストイングのひとつで、速報性の高い関連データを用いて GDP 成長率を予測しています。7 月以降の経済指標では製造業関連データの悪化が目立ち、GDP 成長率見通しが押し下げられています。ドル高や中国経済減速の影響が米国経済におよびつつあることがうかがえます。イエレン FRB 議長をはじめ FOMC メンバーの多くは、年内の利上げ開始が望ましいという見解を堅持していますが、その前提となる景気シナリオの雲行きが怪しくなりつつあることが示されています。



デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,500 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト) は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界 150 を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約 220,000 名を超える人材は、“making an impact that matters”を自らの使命としています。

Deloitte (デロイト) とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL (または “Deloitte Global”) はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。